

令和4年度第2回北海道若者活躍プロジェクト地域教育ワーキンググループ記録

日時 令和5年5月31日（火） 10:30～11:50

場所 ZOOMによる

次第及び出席者は別紙会議資料を参照

議事の前に、新たに本ワーキンググループに北海道庁から3名が加わった旨報告があった。

【議題】

1. 地域PBL発表交流会の開催について

室蘭工大（永野教授）から資料に基づき説明があり、令和4年度については、北洋銀行からのご提案で、セミナーホールの無料貸与を受けられる見込みである。北洋銀行が無料で貸与する条件として、同行からは多くの企業参加を期待しているので、各校には、企業への呼びかけに協力願いたい旨依頼があった。

その後、本取組みの今後に関して意見交換した結果、再度本件について検討することとなった。

【主な意見】

- ・1校だけが負担すべきではないので、持ち回りが良いと思う。
- ・教育機関が持ち回りで運営するより、何らかの組織があって役割分担を決めることが出来れば良い。
- ・オンラインでも年1回実施できていることは素晴らしい。
- ・一般の方や企業と学生の交流が活発であったので対面のメリットは大きい

2. 地域志向人材育成プログラム修了認証制度について

室蘭工大（永野教授）から資料に基づき説明があり、本制度の今後に関して意見交換した結果、再度本件について検討することとなった。

【主な意見】

- ・正課以外の行事も評価対象にして良ければ、プログラムは継続できる。
- ・各校が、授業によらなくても、道内（企業）を知る取組みを経た学生を地域志向人材として認めることができれば良い
- ・道内就職優遇制度を継続しないのであれば、認証制度も継続しないという考えもある。
- ・メリットがなければ、認証するといっても学生が乗ってこない。
- ・地域志向人材として一定の能力を確保するサーティフィケーションがあって良いのではないか。
- ・大学のプログラムの中に地域志向人材育成は必ずしもマストではないかもしれない。
- ・教育機関が統一したサーティフィケーションを出すことは企業にも学生にもわかりやすいが、各校が個々に認証し、メリットもなくなると学生が乗ってこないと思う。
- ・継続するなら、今後どこが旗振りを行っていくのか検討すべき

3. その他

北海道庁の関わり方に関して、意見交換を行った。

【主な意見】

- ・推進協議会で今後の方針を決めないといけないと思う。意見を聞いて回るタイミングではないのでないか。
- ・北海道庁の地域戦略の中で教育も位置づけてもらいたい。北海道庁には俯瞰的に捉えるビジョンが必要なのではないか
- ・個別には事業を行ってきているが、道内定着していないのが現実だと思う。これまで出た意見は、改善しない限り北海道は変わらないとの提言だと思う。

最後に、室蘭工大（永野教授）から推進協議会の開催前に再度、WGを開催したい旨発言があった。

【議題 1 に関する意見】

（令和 5 年度以降の運営方法について）

意見：特に教員には好評なので、ぜひ続けていきたいが、持ち回りを担当する場合は、他部署に確認する必要がある。1校だけが負担すべきではないので、持ち回りが良いと思う。

意見：教育機関が持ち回りで運営するより、何らかの組織があつて役割分担を決めることが出来れば良い。

意見：運営主体が決まらないと会場も決められない。

意見：運営主体を持ち回りで担当するのも良いのではないか。

（R5 以降の会場について）

意見：会場費は抑えて実施すべき。対面が難しいのであれば、オンラインでも年 1 回実施できていることは素晴らしい。

意見：チカホで実施した経験から、一般の方や企業と学生の交流が活発であったので対面のメリットは大きいと思う。ただ、少額であっても経費負担することは難しい状況。

意見：北大の学術交流会館であれば、1 校当たり 2,000 円程度をご負担いただければ実施できる。

【議題 2 に関する質疑等】

（取組の継続について）

意見：学生に周知しているが、希望する学生は 0。道内出身者が多いので道内就職希望者も多い。また、やりたいことがないのではなく、企業を探せない学生が多いと考えており、学生と企業の接点を増やす行事を重視している。正課以外の行事も評価対象にして良ければ、プログ

ラムは継続できる。ただし、1次試験や交通費の免除が学生にはメリットに感じていない。

質問：正課以外の行事は具体的に何を行っているか。

回答：道内企業が参加するイベント（ビジネス EXPO）の参加、企業訪問バスツアーがある。

意見：各校が、授業によらなくても、道内（企業）を知る取組みを経た学生を地域志向人材として認めることができれば良いと考えている。

意見：前回の WG で議論があったが、10 単位の縛りを緩めても、学生の利用率は上がらないのではないか。

回答：前回の議論で継続すべきでないこととなったのは、道内就職優遇制度である。今回の議題は、同制度を利用することができる修了者（認証）の取扱いについてである。

質問：認証はどこが行うのか。

回答：各校が認証する。

意見：道内就職優遇制度を継続しないのであれば、認証制度も継続しないという考えもあると思う。

意見：メリットがなければ、認証するといっても学生が乗ってこないと思う。認証がなくても学生が個々に自身を PR することが出来れば良いのはでないか。

意見：メリットがなくても、大学では教育認証を出していると思う。COC+ではメリットとして道内就職優遇制度をつけたが、地域志向人材として一定の能力を確保するサーティフィケーションがあつて良いのではないか。

意見：大学のプログラムの中に地域志向人材育成は必ずしもマストではないかもしれない。企業にとっての優先順位は、優秀な人材を取りたい、次に北海道に愛を持っている人材を取りたい、の順になると思う。

意見：若者は、どこにいてもいいが、故郷に貢献するようなモチベーションを持っていてほしい。関係人口として北海道に寄与してほしい。

意見：大学にお願いするのは負担がかかる問題だと思う。将来の北海道をどうしていくのかを産学官が連携して、行政を交えて方向を決めていかないと、サステナブルにならないのではないか。

意見：大学時代に北海道について学んだことは、道内に再就職する時に PR することができると思う。企業側にも一つの資格として見てもらえれば、就職試験のメリットになると思う。北海道としてベースになる基本的な考えがないから迷いが生じていると思う。北海道庁にリードしてもらえないのではないか。

意見：室工大では学生便覧に教育プログラムを掲載しているので、継続していける。

意見：道内出身者が多いので、本プログラムを受講するメリットを見い出せない学生が多い。学生にとってメリットがないと興味を示さないとと思う。2024年にカリキュラム改編を予定しており、低学年のキャリア教育（自ら就活できるような学生を育成）を掲げるので、北海道だけを見ることのできないかもしれない。

意見：認証自体は継続も可能と思う。教育機関が統一したサーティフィケーションを出すことは企業にも学生にもわかりやすいが、各校が個々に認証し、メリットもなくなると学生が乗ってこないと思う。継続するなら、今後どこが旗振りを行っていくのか検討すべきではないか。

意見：各校の判断で決めてもらえれば各校の特色も出しやすくなって良いのではないかな。

【議題3に関する意見等】

道庁：若者の道内定着については、すでに各振興局単位で取組みを行っている。プロジェクトの各拠点の取組みとどのように関わっていけるのかを考えたい。また、関係部で行っている施策があるので、部局間の確認が必要。大学に限定した施策はない状況。北海道として出来ることをWGの意見を聞きながら、検討していきたい。

質問：施策のパフォーマンスはどのように評価されているか。COC+から取組みは行っているが、改善にはつながっていない。

回答：政策の評価は他部署になるので、回答はできない。北海道総合計画の地域戦略の中で施策を実施し、各政策評価を行いPDCAを回している。

質問：今後のスケジュールをお聞きしたい。推進協議会で今後の方針を決めないといけないと思う。意見を聞いて回るタイミングではないのでないか。

回答：7月の推進協議会で示すことができれば良いが、調整が見つからない場合は相談したい。

質問：推進協議会の前にWGの議論は必要で、WGの参加者も全員揃うこともなく、残された時間は少ないと思う。

回答：できる限り努力したい。

意見：運営の母体がなくなったときに、プロジェクトの財産をどのように生かすかの議論になると思う。各教育機関の考えで各教育機関が財産を活用できれば良い。

意見：企業にとって人材教育は大きいですが、これを教育機関に頼るのは重いと思う。北海道庁の地域戦略の中で教育も位置づけてもらいたい。北海道庁には俯瞰的に捉えるビジョンが必要なのではないか。例えば、道内有識者の審議会を開催し、本取組みを発表するなど、経済界を行政がどう応援してくのか展開してはどうか。

回答：事業の趣旨から自走する理念のもと進めている。拠点活動等の取組みについて発信のお手伝いをできると思う。本プロジェクトの実施要項に掲げる「若者の道内定着に向けた施策の展開及び対外的な情報の発信」が北海道の役割として考えていきたい。

意見：これまで大学、北海道、室蘭市で個別には事業を行ってきているが、道内定着していないのが現実だと思う。これまで出た意見は、改善しない限り北海道は変わらないとの提言だと思う。もっとブレークスルーしていくべきではないか。

回答：この場で回答はできかねる。ご指摘を受け止め関係部につなげたい。

以上